

令和3年度とくしまエシカル消費推進会議
概要

日時：令和4年3月7日（月）午後1時30分から午後2時30分まで

開催方法：Web会議

概要：

- (1) とくしまエシカル消費推進会議の概要について
徳島県から説明
- (2) 消費者庁新未来創造戦略本部のエシカル消費の取組について
消費者庁新未来創造戦略本部から説明
- (3) 徳島県のエシカル消費の取組について
徳島県から説明

- (4) 会員による取組事例報告及び意見交換

会員による事例報告は次のとおり。

○国立大学法人 鳴門教育大学

衣服のロス削減しようということで、行動変容をキーワードにシリーズ動画を5本作成して公開している。「エシカル消費」の問題について、「分かってはいるけれどできていない」ということ、「できていないということも分かっていない」ということが多いので、世界の問題がどうなのか、そして自分がどうなのか現状を知ってもらい、そのあとどう改善していけばよいのか、具体的な知識を得てもらうということで、段階的な動画を公開した。

○イオンモール株式会社イオンモール徳島

昨年度から徳島含め全国のイオンモールで「サステナブルファッション」に取り組んでおり、衣料品の回収を「幸服リレー」と題して継続的に行っている。イオンモールには多くの人を訪れるので、「サステナブルファッション」の啓発になると考えている。今後も実施していく予定であるので、皆様参加いただけると幸い。

○有限会社ウト・ワーク

昨年からの活動として、阿波地美栄を活用したフードロス削減と、獣害を有効活用するというので、学校の授業として取り組んでいる。阿南市は農業放棄地が多いため、放棄地を活用した生産者とのコラボ農園を作ったところ。収穫体験とジビエの有効活用を学校の授業の一環として行っており、「食物は実はこういうふうには地元で採れる」「獣害と言われているものも、地元では力強く食として活用されている」ということを学んでいただき、まだまだ有効活用できていないものについて次世代へ課題を示すだけでなく、若い世代のアイデア発掘にもなっている。そのほか、阿南光高校と防災食の共同開発や、規格外の県産しいたけを使った商品開発、就労支援施設とデリバリーのサービスを行っている。地域で連携し、地域の中で笑顔が増えるように取り組んでいる。

○有限会社ハイプラ

プラスチックをゴミにしないという理念でこれまでも取組を行ってきたところ。この3月から、地域の子どもたちの要望を受けて、ペットボトルのキャップをワクチンにという活動に参画することになった。この取組自体は以前からあったが、ペットボトルキャップの価格が落ちたこと、需要が減ったことなどから取り扱う事業者が減っており、地域の子どもたちから「集めたペットボトルキャップを持っていく先がない」という声があった。こういった声を受けて、このタイミングで参画することになった。個人でも企業でも、ペットボトルキャップを持ってきていただけたら証明書を出すことができる。また、ペットボトルキャップを粉砕して色分けすると、色が違ううちわの骨にもできる。次の商品、形が見えるところまで我々のご紹介できるので、このような活動を続けていきたいと考えている。なお、ペットボトルキャップの色分けなどには地域の作業所にご協力いただいている。

○徳島合同証券株式会社

現在、ESG投資が流行っている。このESG投資とは簡単に言うと「環境に配慮している会社」のことで、このような会社を支援することが顧客の利益にもなる。消費者志向経営、ESG投資を今後も推進していき、環境にも優しく、生物多様性の保全にもつながる企業を残していきたいと考えている。

○障がい者就労支援センターかがやき

就労継続支援B型事業所ということで、利用者の皆さんに工賃の配分を行っており、できるだけ工賃がアップできるように毎年取組を行っている。ユニバーサルカフェである「きららカフェ」の運営、そのほかマイバッグ推進、食品ロス削減にも取り組んでいる。障がい者が主体となり、地域の高齢者、子どもをつないでいくよう取組を行っており、今年で2年目になるが、子ども食堂も継続している。SDGsの取組のパネル展示もカフェで行っている。

○講評（アドバイザー：（一社）日本エシカル推進協議会 中原会長）

皆様、大変良い取組。「とくしまエシカル消費推進会議」ということでアドバイスしたいのは、「得しますエシカル消費」ということを皆さんがぜひキャッチフレーズとして持っていただきたい。「エシカル消費」に取り組む、広めるといった事業者の対応によって、もちろん消費者にとって良いことは間違いないが、それ以外にブランドロイヤリティとして、事業者が信頼されるということもあると思う。さらに、その事業者で働いている人にとっても、労働環境も含めて「エシカルな消費」「エシカルなものづくり」はプラスになると思う。その結果、社会が「エシカル」なものになる。それを進めていくのが「とくしまエシカル消費推進会議」であると改めてご認識いただき、さらに前進いただきたい。今日の皆様の発表を伺い、大いに期待したいと思いますし、「得します」ということでキャッチフレーズとしてぜひ活かしていただければと思う。